

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

## 事業名【新】防災交流センター施設整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111(内2843)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,595 千円 (前年度予算額： 0 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,595	0	0	0	0	0	0	0	10,595
決定額	10,595	0	0	0	0	0	0	9,400	1,195

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

・岐阜県防災交流センターについては、災害時の県庁のバックアップ施設として設置された施設であり、災害時に災害対策本部として適切に機能させるためには、その設備について良好な状態を維持しておく必要がある。このため、「岐阜県有建物長寿命化計画」に基づき設備を定期的に更新を行っている。今回更新を行う受変電設備についても長寿命化計画に基づき行うものであり、更新のため必要となる設計を行う。

・また、岐阜県防災交流センターのセンター棟については、照明設備が全て蛍光灯であるが、蛍光灯については2027年末に製造が終了するため、それまでにLEDに切り替える必要があり、令和9年度に照明をLED化するため必要となる設計を行う。

## (2) 事業内容

下記の設計業務を実施

- ・受変電設備の更新工事のための設計
- ・照明設備のLED化工事のための設計

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設であり県が負担する必要がある。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費		
需用費	52	公用車による出張の燃料費、事務用品の消耗品費
役員費	60	事務用通信運搬費
委託料	10,483	受変電設備と照明のLED化にかかる設計委託
工事請負費		
補助金		
その他		
合計	10,595	

**決定額の考え方**

財源には県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県県有建物長寿命化計画 個別施設計画

(2) 国・他県の状況

—

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設の改修に係る業務であるため県が主体となることが妥当

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 令和9年度に高圧受変電設備の更新及び照明のLED化を完了させる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

施設の改修のため

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。  指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。  指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	・取組内容と成果を記載してください。  指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  
3 : 期待以上の成果あり  
2 : 期待どおりの成果あり  
1 : 期待どおりの成果が得られていない  
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)  
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

### (今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

平成11年の設置より26年が経過し設備等の老朽化が進んでいるため適切に改修を実施していく必要がある。

### (次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか  
令和8年度に作成する設計書をもとに令和9年度に工事を行う。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント  
又は事業名及び所管課  
組み合わせる理由  
や期待する効果 など

【〇〇課】